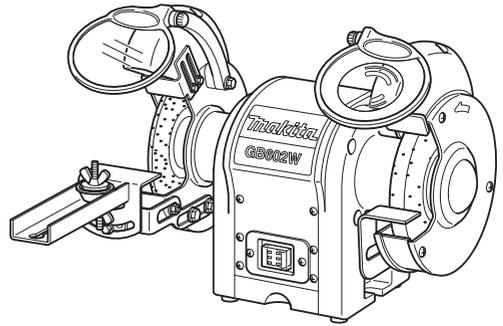


Makita

取扱説明書

卓上グラインダ

150mmモデル GB602W



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは卓上グラインダをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能 \ モデル	50Hz	60Hz
電動機	単相誘導電動機	
電圧	単相交流 100V	
電流	2.8A	
消費電力	250W	
回転数	2,850min ⁻¹ (回転 / 分)	3,450min ⁻¹ (回転 / 分)
砥石寸法 (外径×厚さ×内径)	φ 150mm × 16mm × φ 12.7mm φ 150mm × 6.4mm × φ 12.7mm	
長さ	375mm	
質量	9.5kg	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ・ 製品を設置または保管する際は、太陽光が当たらないようにしてください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ 袖の広い衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⚠ 警告

10. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。

- ・ 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（加工する材料を動かす製品は除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない、又は修理する場合。
- ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、又はキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

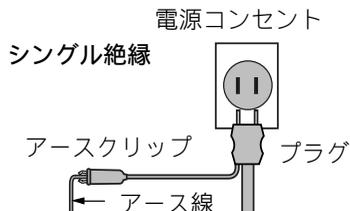
卓上グラインダ安全上のご注意

- 先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、卓上グラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。

- 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



- アース付（3ピン）電源コンセントの場合3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）

アース付（3ピン）電源コンセント



- 2極電源コンセントの場合アースクリップをアース線に接続してください。
- アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。

2極電源コンセント



- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

2. アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発の恐れがあります。

3. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを、使用してください。

- アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

⚠ 警告

4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. 砥石カバー・サイドカバーは、必ず取り付けて使用してください。
 - ・ 砥石が破壊したときなど、けがの原因になります。
6. 使用する砥石は、最高使用周速度 2,000m/min 以上の正規の研削用砥石を取付け、正しい使用面で研削してください。側面では研削しないでください。
 - ・ 正規以外の砥石を使用したり、また側面で研削すると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
7. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ 異常があると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
8. 水、研削液などは使用しないでください。
 - ・ 乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
9. 使用中は、回転部や研削粉などの排出物に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
10. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手などに当てないようにしてください。
 - ・ 火災ややけどの原因になります。
11. 回転させたまま放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
14. [事業者の方へ] 砥石の取り替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法案

労働安全衛生規則

第 36 条

労働安全特別教育規定

第 1 条、第 2 条

⚠ 注意

1. 本機を作業台などに確実に据え付けて、安定した状態にしてください。
 - ・ 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. 新しい砥石を取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
 - ・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
4. 試運転を励行してください。
 - ・ 試運転時間は

〔	砥石交換のとき	3分間以上	〕
	その日の作業始めのとき	1分間以上	

です。
 - ・ 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。

注

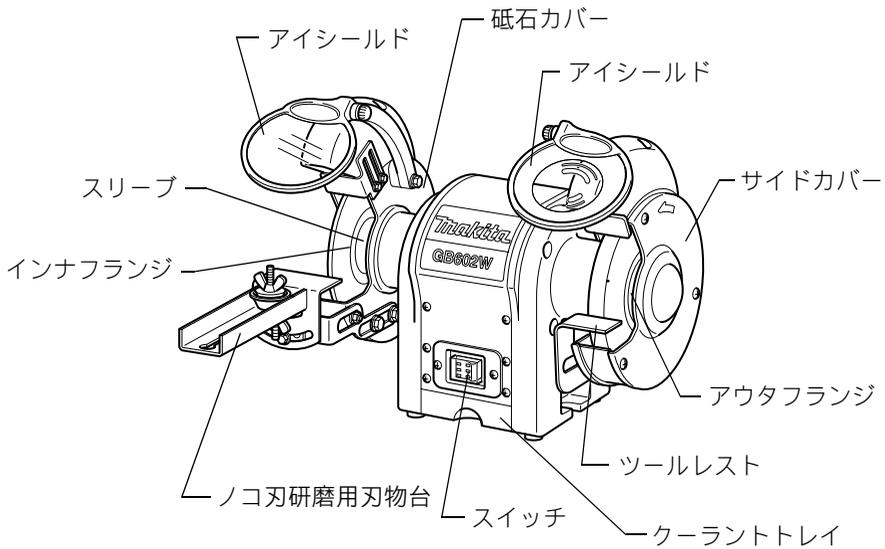
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.00mm ²	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ スパナ 8-19
- ・ スパナ 10-13
- ・ 研削砥石
部品番号 A-47195 (粒度 A60M)
部品番号 A-47818 (粒度 WA60K)
- ・ ツールレスト

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い求めの販売店もしくは、裏面掲載の当社営業所へお問い合わせください。
- ・ セーフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号 191686-2
- ・ 研削砥石

外径×厚×内径 (mm)	砥粒	粒度	結合度	部品番号
150 × 6.4 × 12.7	A	60	M	*A-47195
150 × 16 × 12.7	A	36	M	A-47173
		60		A-47189
	WA	60	K	A-47818
	GC	120	H	A-47204
A-24795				

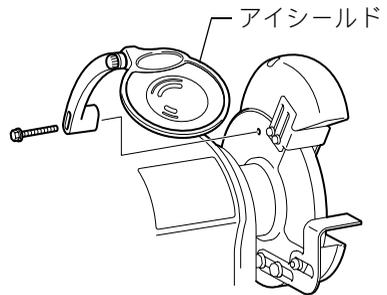
* A-47195 は薄刃研磨用です。
厚さ 16mm の研削砥石を使用するときは、スリーブをはずしてください。

- ・ マルチライトフラップ
部品番号 A-47226
- ・ ドレッサ
部品番号 A-47547

使い方

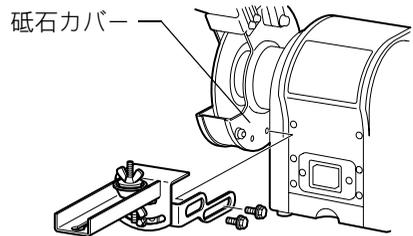
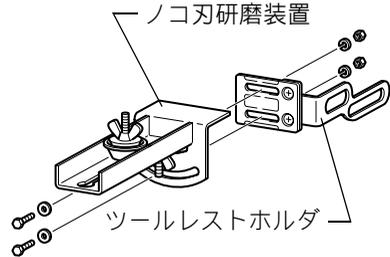
アイシールドの取り付け方

- アイシールドを図のようにボルトで取り付けてください。



ノコ刃研磨装置の取り付け方

- ノコ刃研磨装置を図のようにツールレストホルダにしっかり取り付けて、本機砥石カバー内側へ取り付けてください。



使い方

研削砥石の取り付け・取りはずし方

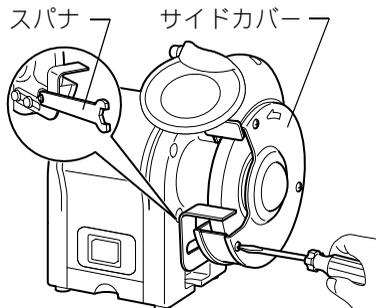
⚠ 警告

砥石の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

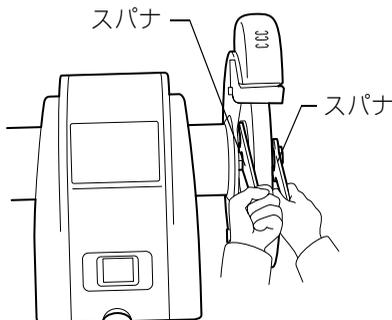
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

取りはずし方

- ・ ネジ回しでサイドカバーを取り付けているネジをはずしてください。
- ・ ネジをはずすときは、ネジを止めているナットをスパナで固定してください。



- ・ 次に砥石内側のシャフトの2面幅にスパナをかけてシャフトを固定し、もう一つのスパナで砥石締め付けナットをゆるめてください。



注

- ・ 砥石締め付けナットは、スイッチ側より見て右側は右ネジ、左側は左ネジになっています。

取り付け方

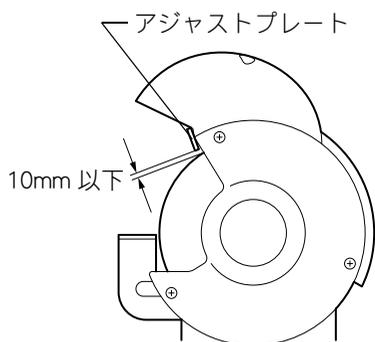
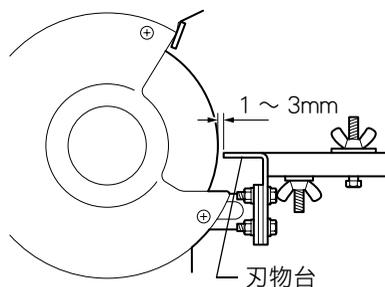
- ・ 取りはずし方の逆の要領で行ってください。

注

- ・ 厚さ 16mm の研削砥石を使用するときは、スリーブをはずしてください。

使い方

- 砥石と刃物台のすきまは1～3mm、砥石とアジャストプレートのすきまは10mm以下に常に調整してください。



使い方

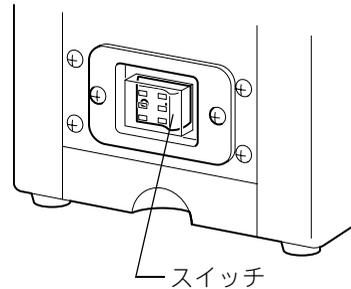
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

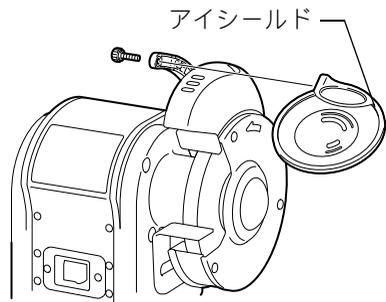
- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

- ・ スイッチを (I) 側に押すと入り、(O) に押すと切れます。

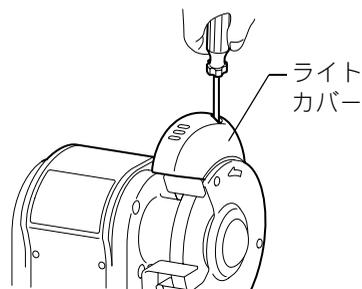


電球の交換

- ・ アイシールドをはずしてください。

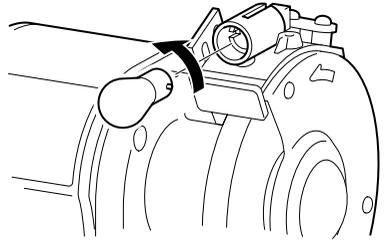


- ・ 電球のライトカバーを止めている2本のネジをはずしてライトカバーをはずしてください。



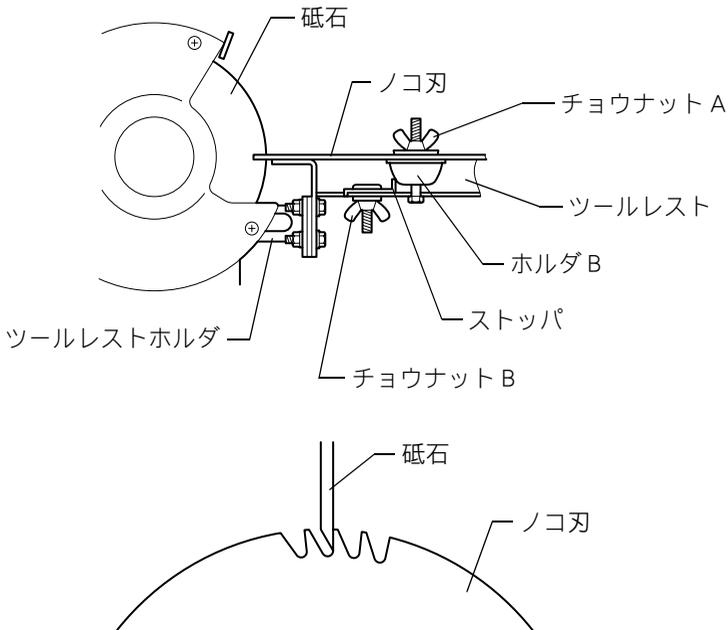
使い方

- ・ 電球は左へ回すとはずせません。



ノコ刃研磨装置の取り付け方

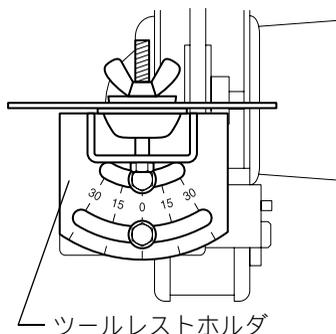
- ・ ホルダ B の上にノコ刃、ホルダ A をのせ、チョウナット A で固定し、ツールレストの長穴にセットしてください。
- ・ ノコ刃を砥石側面に当て、刃底の位置までホルダ B を移動させて、ホルダ B の外周にストッパを当て、チョウナット B を締め付けてください。



使い方

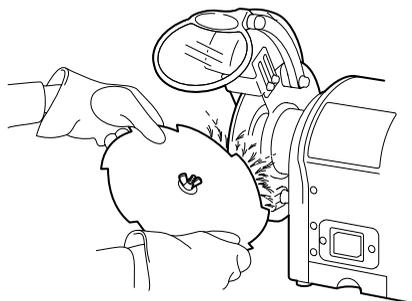
ツールレストの角度調整

- ・ ツールレストは左右 30 度までの調整ができますから、刃の角度に合わせて調整してください。



目立て方法

- ・ 両手でノコ刃をしっかり押さえて前後に動かしながら、一刃ずつ目立てをしてください。



作業方法

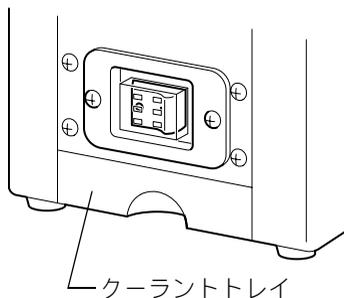
- ・ 研削は、加工物をツールレストにのせ、しっかり保持して行ってください。

クーラントトレイ

- ・ 刃物等の焼けを防止する為の、冷却用の水等を入れてください。

注

- ・ 冷却後、作業を続けて行う場合は、水をふきとってから行ってください。



警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

- ・ 砥石が目づまりしたままご使用になりますと、能率が悪くなりますので、早めにドレッシングしてください。
- ・ ドレッシング後は、本機に砥粉が付着していますのできれいに拭き取ってください。

修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い求めの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

GB602W-MJ-1810
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)